

「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」

報 告 書

(2010年 12月)

社団法人 日本オーディオ協会

事務局

社団法人日本オーディオ協会は「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」を、11月21日（日）から11月23日（火・祝）までの三日間、東京都千代田区の秋葉原地区と周辺エリアにおいてに、74企業・団体の出展と多くのイベントを、経済産業省・千代田区含め15省・区・団体の後援、18団体・企業の協賛、6企業の協力により開催いたしました。

会場は、昨年に引き続き「電気とオーディオ」の発祥の地「秋葉原」とし、地元企業・団体の昨年にも増しての応援と、関係者のご協力と努力により、前回は上回るご出展をいただきました。

会期中は、天候に恵まれ昨年を上回る来場者で大変賑わいました。

会場では、「良い音と映像のある生活空間の提案」をコンセプトに、出展企業が商品や技術を展示して来場者に説明、見て触って体験するということを楽しんでもらえました。

会場は、展示会場とイベント会場、試視聴体験会場とに分け、来場者には楽しんでいただけたものと思います。

秋葉原UDX2階会場では、ホームオーディオ・ホームシアター・カーAV・モバイルオーディオ・試視聴環境商品等に加え、オーディオの新時代を伝える「協会テーマ」コーナーや、話題の「3D」視聴が体験できるコーナーも充実し多くの来場者で賑わいました。

秋葉原UDX4階会場は、「生録会」「親子工作教室」「音のサロン」「CD視聴会」といったイベントが催されました。

富士ソフトアキバプラザ会場では、ピュアオーディオの試聴とホームシアターの視聴が各部屋で体験でき、マニアから一般層までの来場者に楽しんでもらえました。

メイン2会場以外でも、千代田区の秋葉原地区に加え中央区内のメーカー視聴室でも試聴会や売り出しが行われ、多くの方が訪れて賑わいました。

(1) オープニングセレモニー

11月21日（日）午前9時45分から、後援/協賛団体・企業とマスコミ関係者をお招きして行われたオープニングセレモニーは、社団法人日本オーディオ協会の加藤副会長による主催者代表挨拶のあと、吉本豊経済産業省情報通信機器課長からご祝辞をいただきました。

引き続き上述のお二方に、電波新聞 平山哲夫社長、秋葉原電気街振興会 小野一志会長、社団法人日本オーディオ協会 校條亮治会長、吉清和芳副会長代理が加わり、開会を祝すテープカットが執り行われました。



(2) バグパイプバンド演奏

今年度開催のオープニングセレモニーの前後に、「パイオニア東京パイプバンド」によるバグパイプ演奏が行われました。国内では珍しいバンドの演奏でセレモニー参加者や来場者に楽しんでもらえました。

当日はその後、UD X 1階と富士ソフト1階で2回の演奏を行いました。



(3) 展示会場（秋葉原 UDX 会場）

約1000㎡の会場内には、55企業・団体が自社の商品や技術を展示して来場者に紹介をしました。

ホームオーディオでは、アンプやスピーカーに加え、PCMレコーダーやヘッドホン・イヤホン・マイクロホンなどの小型のオーディオ機器の展示や、新設した試聴室利用の試聴会も行われ多くのファンが実演を楽しみました。

ホームシアターでは、ホームシアター機器企業と住宅関連企業の参加により、家庭での設置や楽しみ方の提案が行われました。室内の環境改善の参考になる提案コーナーにも多くのファンが訪れました。

カーAVコーナーは、コンパニオンの参加による華やかさと、車室内での音楽再生を楽しむファンで混雑をしました。

日本オーディオ協会が進める事業で、「新世代テーマブース」としてネットワーク・モバイル・PC/USB・新音場再生技術などのオーディオ関連技術の展示を行い、多くのオーディオファンが説明に聞き入り、新技術や今後の方向性を予見させるブースとなりました。

出展企業からは、「来場者が昨年より多い」「女性客が増えた」「商品説明を熱心に聴いてくれる人が多い」など好印象を得、試聴会開催企業からは「各回共に満員だった」等のコメントをいただきました。





(4) 試視聴体験会場（富士ソフトアキバプラザ会場）

富士ソフトアキバプラザ会場は、5階・6階で各企業の試視聴が体験できました。

13企業が部屋別の会場に出展され、オーディオ試聴会やホームシアター視聴会が実施されました。

各企業での多少の差はあるものの、企業別室内は勿論、通路も回遊する来場者で混雑をする3日間でした。

6階では、CDやDVD・ブルーレイディスクの販売、5階ではオーディオ専門誌が販売され、その場での購入ができることで多くのお客様に喜んでいただきました。



(5) 出版社セミナー

昨年に続きオーディオ専門誌を手掛ける3社によるセミナーを、21日(日)・23日(火)の二日間、富士ソフトアキバプラザ会場で開催しました。

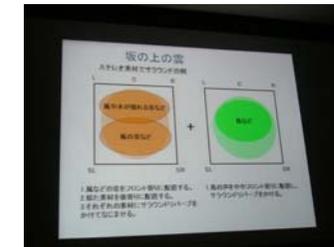
最近注目を浴びる、PCやネットワークオーディオのセミナーや、ファンの多い「ジャズCD」を視聴するなどが行なわれました。各回共に多くのファンで会場が埋まりました。



(6) 日本オーディオ協会セミナー

日本オーディオ協会セミナーは、「第3世代オーディオ」「デジタルホームシアター」「サラウンドサウンド」「生録」の4つのテーマでセミナーが開催されました。

各回共に多くのファンが入場してセミナーを体験、最新の技術や話題への強い関心が伝わってきました。



(7) 出展企業セミナー

会場に出展する企業の商品や技術を紹介するセミナーを開催しました。

初めての開催でしたが多くの企業から参加をいただき、会場となった富士ソフト6Fのセミナールームでは、多くの入場者が楽しめました。



(8) ライブレコーディング（生録会）

(社) 日本オーディオ協会主催の生録会は、今回で4回目となり楽しみに待っているファンも参加されました。

11名構成のジャズバンドの演奏が行われ、生録体験と演奏を楽しむリスナーで会場は盛り上がりました。

慶応大学の「ライトソサエティ」出身者中心のバンドで、女性ボーカルも楽しめました。

21日（日）一日だけのイベントでしたが公演は2回行われ、1回目は「36名」2回目は「29名」が生録会に参加しました。



(9) 親子工作教室

21日（日）23日（火）の二日間にわたり、小学生高学年を対象にした「親子工作教室」を開催しました。

昨年より多い4講座を開催、子供たちの感動の息遣いと、楽しい会話が飛び交いました。

21日（日）は、スピーカーボックスを組み立ててスピーカユニットとの一体化でスピーカーが出来上がる体験。
23日（火）は、スピーカアンプの手作り講座と紙コップを使つてのスピーカー製作講座を開催。
二日間・4講座で54組108名が参加、大変好評を得ました。



（10）音のサロン

今年度、はじめてのイベントとして開催しました。

音楽を楽しむ本来の姿をめざして、飲み物（アルコール）と食事を楽しみながら好きな音楽を聞く催しです。

- ①携帯電話に保存した音楽を聞く
- ②クラシックCDを聞く
- ③ジャズCDを聞く

とジャンル分けをして各々コメンテーターをお呼びしてトークも楽しみました。

開催告知と開催日程での課題も残りましたが、参加者には楽しんでいただきました。



(1 1) こだわりCD試聴会

- ①古典音楽CDを、音楽の歴史や背景を東京大学・早稲田大学の学生により案内して進める試聴会です。メーカー技術者や評論家と違った観点での話に多くのファンが聴き入りました。
- ②「日本プロ音楽録音賞」へのノミネート作品を、運営委員会による解説を聞きながら試聴しました。ポップスやロックからクラシックまでの幅広いジャンルを楽しめました。



(1 2) ジャンク市

会場を秋葉原UDX 2Fに移し、昨年に引き続いての開催となりました。

地元電気街の協力で4企業の参加となり、自作オーディオファンのみならずレコード盤などが出展された事で、ピュアオーディオファンをも引き付けてのイベントとなりました。



社団法人日本オーディオ協会では、「オーディオ&ホームシアター展 TOKYO」開催を来年度も計画しております。
開催日時と場所につきましては、協会内部での議論と関係先との調整を踏まえて、2011年1月に決定の予定です。
次回開催にあたっては今年度の評価と考証を行い、ご出展各社とご来場者に更なる満足いただけるものにしたいと思います。

オーディオとホームシアター文化の発展と業界の未来を拓くべく、また協力いただく地域の発展にも寄与できるイベントとなるよう企画し開催いたします。

詳細が決定次第、ご案内を差し上げる予定です。

社団法人日本オーディオ協会の活動と今展示会にも、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。